

平成 24 年度上大島町自治会通常総会開催結果

平成 24 年 4 月 1 日公民館において平成 24 年度の通常総会が開催されました。

当日は、町内各班の伍長さんの殆どの出席を頂き、提出された 6 議案について慎重審議の結果、全員異議無く無事終了しました。

議事録下記のとおりですのでご覧下さい。なお、23 年度事業結果及び 24 年度事業計画並びに 23 年度決算報告及び事業計画につきましては、4 月 1 日付でご覧しましたのでご覧下さい。

前橋市上大島町自治会平成 24 年度総会議事録

司会 女屋 清 副自治会長

- 1 日 時 平成 24 年 4 月 1 日(日) 19 時から 20 時 30 分
- 2 会 場 上大島町公民館
- 3 総会当日会員数 役員 6 名 伍長 33 名 監事 3 名 合計 42 名
- 4 出席者数 40 名(内訳 本人出席 40 名)
- 5 議案等

1) 議案

- | | | |
|---------------|--------------------|--------|
| (1) 第 1 号議案 | 副伍長会長の選任について | 会長提案説明 |
| (2) 第 2 号議案 | 平成 23 年度事業報告 | 会長提案説明 |
| (3) 第 3 号議案 | 平成 23 年度会計報告及び監査報告 | 会計・監査員 |
| (4) 第 4 号議案 | 平成 24 年度事業計画(案) | 会長提案説明 |
| (5) 第 5 号議案 | 平成 24 年度収支予算(案) | 会計提案説明 |
| (6) 第 6 号議案 | 上大島町自自主防災組織図の一部改正 | 会長提案説明 |

2) 議長・書記 2 名・議事録署名人 2 名の選任：事務局一任で決定

議長： 湯澤治雄 伍長会長

書記： 湯澤 稔、荒木 陟 両副自治会長

議事録署名人：湯澤市郎、荒木公夫 両監事

3) 総会成立の審査

総会当日伍長総数 33 人のうち出席 31 人で二分の一以上の定足数を満たしたので総会は成立した。

4) 議案審議の内容及び議決の状況

(1) 第1号議案 副伍長会長の選任

西組所属、湯本副伍長会長の退任にともなう、後任の選出について、栗原会長から提案説明がなされた。

「議決の状況」事務局一任との発言があり、栗原会長から東組 10 班伍長 女屋敏夫さんが指名され、全員一致で推挙され、本人も了解したので決定した。

(2) 第2号議案 平成 23 年度事業報告

資料に基づき、栗原会長から提案説明がなされた。

「議決の状況」 討論及び採択があり原案どおり承認された。

(3) 第3号議案 平成 23 年度会計決算報告及び監査報告

荒木会計担当副会長から説明、湯澤市郎監事より監査報告がなされた。

「議決の状況」特別会計に関連し、女屋敏夫伍長から「建物等の減価償却年限について」の質問があり、栗原会長から「建物の法定耐用年数の木造家屋の 20 年により算定して引き当てているが、予算の関係で、十分な引き当てができていない旨の答弁」があり了承された。

その他の質問等もなく全員一致で原案どおり可決された。

(4) 第4号議案 平成 24 年度事業計画について

栗原新会長からその概要説明の後、質疑に入った。

「議決の状況」何の質問もなく全員一致で賛成可決された。

(5) 第5号議案平成 24 年度収支予算について

荒木副自治会長（会計担当）から議案説明。

「議決の状況」原案どおり可決された。

(6) 第6号議案 上大島町自主防災組織図の一部改正について

栗原会長から説明。

「議決の状況」役員改選に伴う事務処理的な改正案のため、原案どおり可決された。

総会書記

副自治会長 湯 澤 稔

副自治会長 荒 木

以上の議事録は、総会議事内容に相違ないことを認めます。

平成 24 年 4 月 1 日

総会議長 湯 澤 治 雄

議事録署名人 湯 澤 市 郎

荒 木 公 夫

平成 24 年度上大島町通常総会会長挨拶要旨

新しい年度、平成 24 年度の上大島町自治会通常総会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度は内外ともに大変な年でありました。特に、国内では東日本大震災にともなう未曾有の出来事があり、それに引き続き惹起された福島原発の水素爆発による放射線汚染にともなう諸問題が挙げられます。

いずれにしてもこれらを乗り越え日本を再生することが喫緊な大きな課題であることは、周知の事実であります。

自治会としては被災地の一日も早い復興を祈りつつ、復興の手助けになることを各自が見つけ、実践していくことが大切であると思います。

さて、上大島町のことに戻りますが、昨年は多くの要請が皆様から寄せられましたし、交通事故による死亡者、あるいは台風 12 号による被害等が発生し、それに対応するための緊急対策等に奔走する結果となりました。幸い皆様のご協力により、ご要請された事柄等も全てとはいきませんでした。一応の対応はできたのではないかと考えております。

まず、事故関連では、台風 21 号による清水川の堰堤破損の修復工事（現在工事中）、浸水防御のための「土のう」の備蓄（これについては、上大島町の要請により、永明公民館内にも 200 袋の土のうが常備されました）を旧消防小屋敷地

に常備しました。

また交通事故対策としては、公民館入り口の電柱の移設、及び横断歩道位置の変更、事故防止シグナル等の増設等を行いました。(一部未完成)

さらに、道路改修工事とともにガードレールが撤去されたことから、児童の安全歩行を確保するため安全柵の設置を急遽行いました。

なお、安心安全な街づくりの一環として防犯街路灯の増設及び LED への全面切り替え工事を実施しました。この工事には自治会三役の皆様の勤労奉仕そして、藤江あきら市議会議員の懇切なご指導や請負業者の特段のご協力もあり、自治会負担も少額に抑え終了することができました。特に本工事については、前橋市が初めて予算化した経費 200 万円のうち 1,247,500 円という大きな補助金の交付を受け、他町に先駆け実施することができました。

その他、長年の懸案であった旧産業道路の舗装改修工事も平成 23 年度予算で残りの部分が終了し、当初計画した予定部分は全て完了することになります。道路補修には多額な経費がかかるため、他の要望事項が犠牲となり手つかずの部分もありましたが、本年度以降、細かなところについても補修等が進められると思いますので、工事等に際しては特段のご協力をお願い致します。

次に、本年度の重点事業についていくつか触れてみます。

まず、第一に自治会が保有する固定資産の安全管理体制を確立する事業です。ご案内のとおり、上大島町は、土地及び建物等多くの不動産を所有しております。しかし、これらの登記は、上大島町自治会が「法人格」を持たないため、町内の時の自治会長をはじめ役員の名義になっている状況です。共有者中には、すでに物故された方も多く、早期に手続きをしてその所有を自治会に移管する必要があります。

そのためには、**まず法人格を取得すること**が急務です。幸い、地方自治法の改正により、平成 11 年 3 月 31 日付け条例第 13 号により「前橋市認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例」が制定されました。これにより、認可地縁団体に登録されると、印鑑証明書の交付が受けられることとなります。

それには、同条例の施行規則の定めにより、自治会規約の一部改正や現在登記してある不動産名義人の譲渡に関する諸書類の整備が必要となります。

これらの処理に関しましてもワーキンググループを作り対応しなければ前に進めません。皆様の格別なご協力をお願い申し上げます。

第二として、上大島町「ふれあい・いきいきサロン」の新設です。永明地区でこのサロンを持たない町内はごく少数となりました。本年度新たに小島田町がスタートします。上大島町では従来から種々の寄り合いがあり、充分「ふれあいサロン」の役目を果たしてきておりましたが、特定グループの集まりではなく、各界各層の方々が気軽に集まれるサロンも絆の醸成には必要と考えます。手始めに観音親交会等のご協力を頂く中で、輪を拡大していく等の方法もあろうかと思えます。是非本年度は、組織化したいものです(この事業には、前橋市社会福祉協議会から助成金が支給されます。1 年次 50,000 円 2、3 年次以降 30,000 円)。

また、これに並行して包括支援センターが推進している「独居老人等の孤立死

防止のためのネットワーク」づくりを考えておりますがその一助となればともおもっております。

第三として、上大島町ホームページの充実強化事業であります。

開設以来多くの方々のアクセスがあり、特に上大島町以外の地域(県外を含む)の皆様から問い合わせ等が参っております。しかし、町内の各種団体の積極的な利用が少ないため、本年度は各団体担当運営委員の皆様には張り切って頂き、事業予定、結果等の迅速な掲載をお願いしたところですが、町内の皆様からも是非写真付きで(動画でも可能です)ご投稿頂ければ幸いです(各町が発行している広報誌以上の情報伝達を是非行いたいと考えております)。

第四としては、安心安全な街づくりの推進です。ご近所で問題のある箇所を発見しましたら、伍長さん又は自治会三役にお知らせ下さい。全て解決は不可能ですが、最善の努力を傾注したいと考えております。特に、児童及び高齢者の安全対策、交通安全対策を優先し、さらに、環境衛生対策等にも力を注いでいきたいと思っております。

いろいろ申し上げて参りましたが、個々人が上大島町に対する郷土愛を深め、各種団体が協力し合い、全自治会員が一致団結して事業推進のために参加し、実践することにより、所期の目的が達成されると思っております。

本年度も皆様の絶大なるご協力を重ねてお願い申し上げます。

平成 24 年 4 月 1 日

上大島町自治会長 栗原 貯